

<p>識別番号 C99-19981</p>	<p>2000年3月31日</p>	<p>担 当 医 等 の 意 見</p>		<p>報 告 企 業 の 意 見</p>	
<p>【シンメトレル】                  発現時期がシンメトレル投与と一致していることから強い因果関係がSSRIとの間であると考えている。                  以前から攻撃性がある強い性格障害があったが、シンメトレル投与までは人格分裂はなかった。その後転医となっており、詳細は分かりかねるが、別名を名乗っているとかウンセラから報告がきており、また、家族への暴力が強くなっていて、子供がチックになったとの報告もあがって来ている。(多重人格障害：重篤・上記に準じて重篤、多分関連有り)                  【副作用の重篤性/重症度/因果関係】                  多重人格障害 (人格障害NOS) : 重篤 (準重篤) // 多分関連あり (シンメトレル)                  精神症状 (精神症状NOS) : 重篤でない/軽微でない/関連が疑われる (シンメトレル)</p>		<p>担 当 医 等 の 意 見</p>		<p>【シンメトレル】                  多重人格障害に関し本剤は精神障害の有る患者に対しては慎重投与であり、警告欄にも記載されている。また併用薬のデプロメールはベンゾジアゼピン系薬剤と併用注意でありエーロジン、セルシンは精神障害患者に投与し興奮、錯乱の奇異反応が現れることが有るとの記載があるため、本剤、併用薬剤の影響の可能性が考えられるが、患者は精神障害の患者であり精神疾患の関与の可能性も考えられる。(多重人格障害：未知、重篤、SUSPECTED)</p>	
<p>【シンメトレル】                  本報告をもって特別な対応は取れないが、今後も類似の報告に留意する。</p>		<p>処 置 と 今 後 の 対 策</p>		<p>参 考 事 項</p> <p>【シンメトレル】                  家族歴：なし</p>	
<p>使用上の注意の記載状況等                  【シンメトレル】                  多重人格障害の記載なし                  慎重投与に精神疾患の有る患者、幻覚、妄想、錯乱、悪夢等の精神症状が増悪する恐れがある。                  PDR、CSI：多重人格の記載なし。                  併用薬剤の記載状況：デプロメール：肝臓での代謝阻害により塩酸クロミプラミン、ベンゾジアゼピン系薬剤の血中濃度上昇があり併用注意。                  エーロジン、セルシンは精神障害患者に投与し興奮、錯乱の奇異反応が現れることが有る。                  セン妄、錯乱、幻覚、妄想記載。(デプロメール、メイラックス、エーロジン、セルシン、レンドルミン)                  多重人格障害                  国内症例：1例目                  外国症例：なし</p>		<p>使用上の注意の記載状況等</p>		<p>参 考 事 項</p>	